

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2023年度)

施策コード	31
-------	----

まちづくりの方針	3 産業・環境・市民生活
施策	1 農業
施策のめざす姿	生産者と消費者との交流が図られ、農に親しみ、食の大切さを実感することができるとともに、適切に維持管理された農業基盤のもとで農業者が安定した農業を営んでいます。

まちづくり指標	現状値 (2019年度)	実績値					目標値	
		2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2025年度	2030年度
認定農業者数(経営体)【産業振興課】	31	29	31				32	33

施策の方針	担当課	実績・成果
		今後の方向
1 農地利用の推進	産業振興課	<p>中間管理機構を利用し、農地集積を行った。 農業振興地域整備計画の変更を行った。</p> <p>中間管理事業を利用し、農地を認定農業者・中心経営体に集積していく</p>
2 農業経営の確立	産業振興課	<p>農協や農業改良普及課と連携し、県や国等の実施する農業の担い手の農業経営の発展に寄与する、補助事業の活用をした。</p> <p>農協や農業改良普及課と連携し、県や国等の実施する農業の担い手の農業経営の発展に寄与する、補助事業の活用の推進を行う。</p>
3 農業生産・消費の拡充	産業振興課	<p>農業生産に関しては、中間管理機構を利用し、農地集積を行った</p> <p>引き続き中間管理事業を利用し、農地を認定農業者・中心経営体に集積して生産効率を上げていく。</p>
4 農業生産基盤の充実	都市整備課	<p>土地改良区の工事に対する補助、県営土地改良事業への負担金及び、市が事業主体の水路改修や道路整備を行った。</p> <p>農業生産基盤の充実のため、今後も土地改良事業を支援していく。</p>

総括評価	施策のめざす姿の達成状況	評価
		中間管理機構を利用し、農地集積を行った。 農協や農業改良普及課と連携し、県や国等の実施する農業の担い手の農業経営の発展に寄与する、補助事業の活用をした。
	施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと	方針
	中間管理事業を利用し、農地を認定農業者・中心経営体に集積していく。 農協や農業改良普及課と連携し、県や国等の実施する農業の担い手の農業経営の発展に寄与する、補助事業の活用推進を行う。	継続